

商業界は創始者の倉本長治主幹が“店は客のためにある”という経営理念を提唱し、昭和26(1951)年に商業界ゼミナールを開催。戦後で日本経済が混乱している中、「正しい商売」をしすべてのお客に公平で公正な販売を行うことや、近代的な商業のシステム、うそや隠し立てのない科学的な経営、正札販売、協力者としての社員の育成などを主張したのです。このゼミの参加者が各地で勉強会を組織し、「商業界ゼミナール同友会」が誕生しました。

そして、商業界同友の皆さんが中心となって企画し運営する、商人による商人のための経営勉強会が、商業界地方ゼミナールです。

『商売十訓』

一、損得より先に善悪を考えよう
二、創意を尊びつつ良い事は真似ろ
三、お客に有利な商いを毎日続けよう
四、愛と真実で適正利潤を確保せよ
五、欠損は社会の為にも不善と悟れ
六、お互いに知恵と力を合せて働け
七、店の発展を社会の幸福と信ぜよ
八、公正で公平な社会的活動を行え
九、文化のために経営を合理化せよ
十、正しく生きる商人に誇りをもて



入会申込フォーム